資料２

山 田 委 員
ご 提 出 資 料

平成27年10月６日

KPI管理表（案）

みずほ銀行
山田 大介
資料P1

検討項目	

1．担当府省庁 等

府省庁名		担当部局	
関係府省庁			
関係自治体			

2．KPI

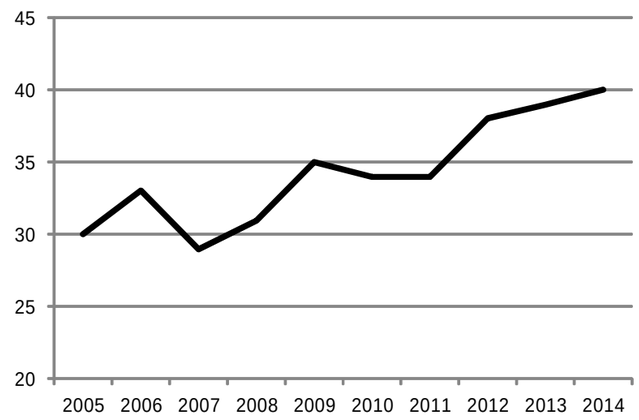
KPI	
KPI選択事由	
歳出削減効果（5年間累計）	

3．現状認識【分かりやすく「見える化」】

全国平均値	

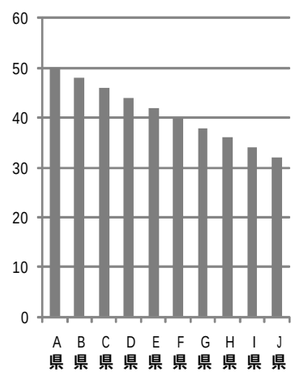
○過去推移（現状）

年	数値
2005	30
2006	33
2007	29
2008	31
2009	35
2010	34
2011	34
2012	38
2013	39
2014	40



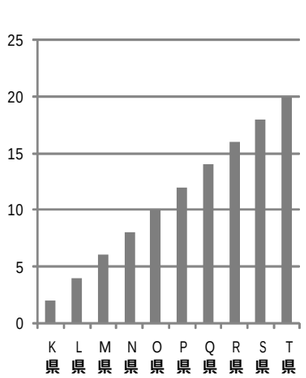
○上位10自治体（2014年）

順位	自治体名	数値
1	A県	50
2	B県	48
3	C県	46
4	D県	44
5	E県	42
6	F県	40
7	G県	38
8	H県	36
9	I県	34
10	J県	32



○下位10自治体（2014年）

順位	自治体名	数値
1	K県	2
2	L県	4
3	M県	6
4	N県	8
5	O県	10
6	P県	12
7	Q県	14
8	R県	16
9	S県	18
10	T県	20



4．KPI目標

18FY	
目標	実績

20FY	
目標	実績

5．KPI達成に伴う歳出削減額・効果

○ Gross / Net

18FY				
目標 ①	実績 ②	目標比 ②-①	達成率 ②/①	前年度比

20FY				
目標 ①	実績 ②	目標比 ②-①	達成率 ②/①	前年度比

○ 歳出削減効果

	主たる項目	効果内容（具体的に記載）	効果に伴う歳出削減額（金額として示せる場合）
1			
2			
3			

6．KPI達成に伴うリファーラル効果（副次的な効果、2020年度以降も見込める効果）

	効果名	効果内容（具体的に記載）	効果に伴う歳出削減額（金額として示せる場合）
1			
2			
3			
4			
5			

◆インセンティブ（18FY、20FYの目標を達成した場合に付与）

	項目	インセンティブ内容
1		
2		
3		

KPI管理表（案）

みずほ銀行
山田 大介
資料P2

検討項目

７．KPI実現に向けた戦略およびPDCAサイクル

実施者	戦略（手法）	関連部局・自治体	16FY 1Q	16FY 2Q	16FY 3Q	16FY 4Q
●●	戦略A		四半期サイクル	四半期サイクル	四半期サイクル	四半期サイクル
	手法①		半期サイクル		半期サイクル	
	手法②					
	戦略B		年度サイクル			
	手法③		半期サイクル		半期サイクル	
	手法④					
××	戦略A		年度サイクル			
	手法⑤		四半期サイクル	四半期サイクル	四半期サイクル	四半期サイクル
	手法⑥					
	戦略B		半期サイクル		半期サイクル	
	手法⑦		四半期サイクル	四半期サイクル	四半期サイクル	四半期サイクル
	手法⑧					

○ ポイント

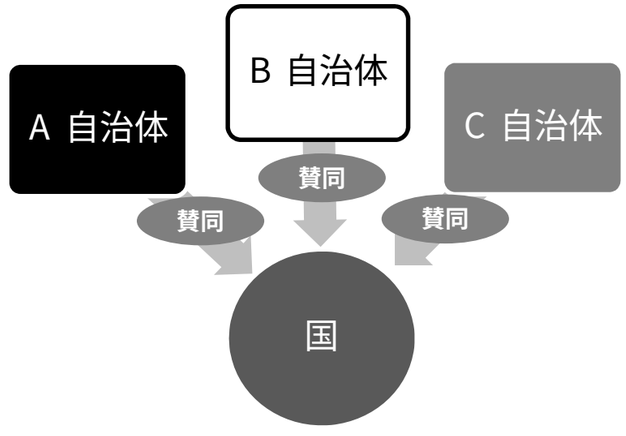
【戦略設定】
- 戦略の策定にあたっては、詳細な設計が必要
  - （ 誰が / いつまでに / 何を / どうやって ）行うのか

【PDCAサイクル】
- KPI毎にPDCAサイクルを設定。少なくとも年度単位でPDCAサイクルを回す必要あり
- PDCAの結果次第では戦略等を見直す必要もあり
- PDCAを実施する会議体等を明確にする（誰がPDCAをチェックするのか？）

KPI達成に向けた重要なポイント

○ 自治体の参加
- どこの自治体に参加してもらうのか
  ⇒ 項番3（現状認識）にて把握した実態を基に参加候補自治体を決定
- 実際に参加する自治体は、本KPIを共有
  ⇒ KPIレベルは各自治体の状況を勘案し検討
  （Σ各自治体のKPI → 全体のKPI実現がベスト）
- 参加自治体についても同一フォーマットを使用してもらうのが理想
- 参加自治体に対しては、いつまでに具体化できるかを検討してもらう

国の施策に賛同してもらい、いかに参加を促せるかが重要



【その他のポイント】
○ 優良事例やベストプラクティスについては横展開を通じて共有する　　○ 住民の納得感を得られやすく、分かりやすい内容にする　等